

**第3回ステークホルダー会議
～本日の位置づけの確認～**

**今後、名古屋が目指すべき循環型社会に向けて
重視すべき点について、
ステークホルダー間での率直な対話を通して、
議論を深めていただきます。**

**なごや循環型社会・しみん提案会議
実行委員会**

ステークホルダー会議の流れ

第一回 9月23日

オリエンテーション・情報提供

第二回 10月7日

情報の追加説明と情報の共有
<討議> 特に何を重視すべきか

事務局作業

アンケート作成と分析
キーワード発見・質問項目の作成

第三回 11月18日
(本日)

重要な論点についての討議

第四回 12月2日

討議結果の確認と指示文書作成

10月7日

- 情報の追加説明等を通じて情報の共有に努めました。
- 循環型社会の実現に当たって、特に何を重視すべきか、自由に意見を出し合ってもらいました。
- アンケート(事務局作業): 討議の記録を元にして、事務局で、キーワードを見つけ出し、キーワードを用いた質問を作成しました。

本日(11月18日)

- アンケートはステークホルダー全員から回答があり、意見分布が明らかになりました。本日の会議で班別討議の材料として提供します。

12月2日

- 次回12月2日には、本日の討議結果を確認し、残された論点についても討議します。合意点、合意できない点に関しての理由などを共有し、専門家がシナリオを作成するための指示文書を作成します。

アンケート結果

以下のような結果となった質問事項に注目

- ① 賛否が分かれる
- ② 特定の立場の方に異なる意見が顕著である
- ③ 名古屋の現行対策と異なる方向を選択

アンケート作成と結果の解釈

1. 結果は郵送済み.
2. 詳細は後ほど説明します.
3. アンケート結果を解釈する上で注目すべき点として以下の尺度があります.
 - ① 賛否が分かれている.
 - もちろんこれは重要な論点です.
 - ② 特定の立場の方に異なる意見が顕著である.
 - ステークホルダー会議では、市民会議と違って数はあまり意味がありません。元々テーマに深い関わりを持つ特定少数の方々を選んでいるからです。選び方を変えれば数で表される結果は変わります.
 - ③ 名古屋の現行対策と異なる方向を選択している.
 - ほとんどの方が合意していても名古屋の現行の対策と異なる方向性を選択している場合には、市民の意見を聞くことが必要と思われれます.

本日の議論の進め方（1）

（13：10－14:10）

1. アンケート結果について、説明と全員での共有

- ・ 質問項目36問を、**「10の分野」**に大括りにすることを提案。

2. 班別討議の方法について、説明とお願い

- ・ 班ごとに、特に重要と考える**3、4の分野**を選択。
- ・ 各班に、是非とも討議をお願いしたい討議テーマを**2つずつ指定**させていただきます。

4

アンケート結果の説明と全員での共有

1. 提案: 質問項目を「10の分野」に大括りにすることを提案します。

- ① 質問項目は大きく抽象的なテーマから、個別で具体的なテーマまで幅広く広がっています。
- ② 次回12月2日には最終的に専門家にシナリオ作成のための指示文書を作成し、全員で合意して頂く予定です。
- ③ このためには、本日、重要と思われる論点は全て議論して頂くことが必要です。
- ④ 各班がそれぞれ3ないし4つの論点について議論できるとしても全体であまり重複があるようだと重要な論点が抜けてしまうおそれがあります。また、班毎に重複しないように論点を選ぶためには相当の時間がかかると思われます。
- ⑤ 是非これを討議してほしいという必修分野を各班2分野ずつ提案させていただきます。

本日の議論の進め方（2）

（14:20－15:00）

3. 質疑応答と班別討議テーマの決定

- ・ **必須の2テーマと自由選択の2テーマを決定**

（15:00－17:15）

4. 班別討議の実施

- ・ テーマに関し、**遠慮なく持論をご披露下さい。**
- ・ **合意点を探りますが、合意が目的ではありません。**
- ・ **意見が分かれたときには、その理由・背景を確認します。**

（17:15－17:35）

5. 班別討議結果の報告。

< 討議を進めるにあたっての留意点 >

- 第2回会議終了後に実施したアンケートの回答から議論が必要と思われる点に対し、各ステークホルダーが、アンケートにおいてどの選択肢をなぜ選択したか、その背景や理由などを出し合う場です。
- 討議テーマの選択方法や討議結果のまとめ方についてはファシリテーターの指示に従ってください。また、会議のルール(第1回会議資料4参照)を守っていただくようお願いいたします。
- 専門家が各グループに待機しています。
- 専門家に質問するときは、ファシリテーターの指示に従ってください。

次回（12月2日）の予定

1.11月18日の討議結果の確認（全体討議）

- ・事務局が記録を基に整理した文書をたたき台に、全体討議。
- ・討議結果に基づいて、上記のたたき台の文書を修正。
- ・10のテーマのうち、特にステークホルダー会議としてこだわるテーマの優先付け。

2.専門家のシナリオ作成に対する指示文書の作成

- ・全体討議結果を踏まえ、専門家によるシナリオ作成に対する指示文書（注文書）を作成し、全員で確認します。

12月2日の予定

1. 11月18日の討議の確認（全体討議）

- ・事務局が記録を元に整理した文書をたたき台に全体討議
- ・10の分野ごとに合意点、対立点と理由・背景の確認
- ・どの班も選ばなかった分野があれば全体討議.
- ・たたき台文書の修正
- ・10の分野ごとにステークホルダー会議として重要度の優先順位付け

2. 専門家のシナリオ作成に対する指示文書の作成

- ・ステークホルダー会議の結果として最も重要な専門家のシナリオ作成に対する指示文書を作成し、全員で確認します.

**ステークホルダー会議の全体の流れの中で、
本日の討議が最も大切なものになろうかと思えます。**

**活発に討議していただけますよう、
よろしくお願いいたします。**